

報道関係の皆様へのご報告

醍醐コミュニティバスの発車にあたりまして報道関係の皆様には数多くのご取材・ご報道をいただきまして誠にありがとうございました。前日祭、発車式ともに盛況のうちに終了することができ、皆様のご理解とご協力に感謝しております。

その後の通常運行も滞りなく遂行しており、25日には発車から10日目を迎えました。この間、多方面から様々なお問い合わせ等をいただいておりますので、ここに、これまでの状況について、ご報告いたします。

●運行の状況（2月16日～25日）

- ・2月16日(月) 始発から通常通り運行
- ・運休無し（運行率100%）
- ・2月23日(月) 醍醐寺五大力尊の日には、臨時便を運行
- ・遅れの状況 おおむね良好で、ほとんどの便は2～3分以内の遅れ

ただし、一部に10～15分遅れの便が発生しました。臨時的な通行規制によるもの（1件）のほかは、団地内の駐車が主な原因となっています。団地内の交差点付近での駐車のためにバスが通れない事態がしばしば発生しました。

これまでバスが走っていなかった団地内等を走る路線であり、バスへの影響を考慮しないまま駐車される方が多いようです。団地の皆さんとも一緒に解決を目指します。

・運行情報システムの一部稼働 運行開始後1週間後から、運行情報システムの一部稼働を始めています。早発(ダイヤよりも早く出発すること)を予防するとともに、遅れの状況を運転士に伝えるシステムで、より正確でスムーズな運行を行うとともに、運転士の時刻管理の負担を軽減するものです。

●利用者・住民からの声

利用者・住民からは下記のような声をいただいています。

- ・通院のときに知人に送迎してもらっていたが、一人で行くことができるようになった。
- ・外出の機会が増えた。買い物などに積極的に出るようになった。
- ・図書館などの公共施設に来ることができるようになった
- ・自動車を運転できない高齢者にはとっても便利。

(以上のような声は、醍醐西団地、端山団地、醍醐南団地、上ノ山団地など、坂のうへの住宅街などにお住まいの方からよく聞かれます。実際にこれらの団地からのご利用者が多いようです。)

- ・醍醐地域のなかでもほとんど行ったことがなかったところも多かったが、全線試乗して

いろいろと発見できた。

- ・一日券を使って一日に2回、アルプラザに買い物に行った。何度でも乗れて便利。
- ・一日券は、病院へ行ったあとに買い物にも行けて嬉しい。
- ・家の近くまで来てくれて、まるでタクシーみたい。
- ・公共交通についてほとんど関心が無かったが、バスに関心を持つようになった。家族でバスについて会話したりするようになった。
- ・「醍醐寺前」バス停前で醍醐寺を紹介するアナウンスは普通の路線バスとは違った良い

印象。醍醐寺の近所に住んでいることが誇りに感じられる。

- ・バスの中で地域の人といろいろと会話できて楽しい。
- ・車体がかわいい。テレビや新聞にも出ていて嬉しい。
- ・運転手さんが親切で身近に感じる。
- ・近所の人にも利用を勧めて無くならないように応援したい。

一方、下記のようなご指摘も頂いています。

- ・どの路線のバスかわかりにくい。間違っ乗った。
- ・路線がわかりにくい。
- ・路線図・時刻表が欲しい。
- ・遅れてきて待たされた。
- ・敬老乗車証が使えるようにして欲しい。

●指摘に対する対応策

利用者・住民からのご指摘に対して、以下のような対応をいたします。

「どの路線のバスかわかりにくい。間違っ乗った。」

- ・バス前面の行き先表示に系統番号を付加するように変更しました。
- ・側面表示にも系統番号を記入し、乗るときに確認できるようにしました。
- ・複数路線のバスが運行されるバス停では運転士によるアナウンスにも努めています。
- ・さらに大きな系統番号表示ができるように検討しています。

「路線がわかりにくい。路線図・時刻表が欲しい。」

・路線別の時刻表を作成しました。(パセオダイゴロー西館、アルプラザ、武田総合病院

の受付等で配布を始めています。)

- ・簡易版の時刻表を作成する予定です。
- ・醍醐駅構内の案内表示をよりわかりやすく改善しました。
- ・武田総合病院内の各所に、路線図・時刻表を掲示していただきました。
- ・路線については、住宅地をきめ細かく回る路線ですので、最初はわかりにくいと思い

- ますが、徐々に浸透していくものと思います。路線図を全バス停に掲示しています。
- ・その他、路線・ダイヤの浸透のための施策を引き続き行っていきます。

「遅れてきて待たされた。」

- ・多くの便は、ほぼ定刻で運行されていますので、そのことをご理解いただけるように広報していきます。
- ・遅れを解消する方策として当面取り組むべき課題は団地内の駐停車です。前述しましたように団地の皆さんとともに解決策を検討します。団地にお住まいの多くの皆さんはバスの運行を大いに歓迎していただいていますので、解決に向けて進んでいくことを期待しています。

「敬老乗車証が使えるようにしてほしい。」

- ・多くの方からの要望ですが、敬老乗車証は京都市の施策ですので、こちらで対応することはできません。市の施策として、利用可能になるように期待しています。
- ・当面は、市民の手によるバスであること、有料であってもこれまでよりも公共交通の便利さが高まっていること、継続していくためには多くの人の協力が必要であることなどをご理解いただくように努めます。

●利用者数

- ・バスには利用者数のカウント装置が搭載されておりますが、データの読み取りは、1カ月に一度程度と考えておりますので、現時点では正確な数値は把握できていません。
- ・推察の数値になりますが、当面の目標としておりました1日500人を2割程度上回るご利用数になっていると考えられます。ただし、運行初日および醍醐寺五大力尊の23日における多くのご利用を含むものです。
- ・今後は、運行開始当初の試乗的なご利用が減少していくと考えられる一方で、地域のなかで浸透していくことによって増加していくことが期待されます。
- ・ご利用の形態は様々ですが、通院や買い物目的が多いと推察されます。
- ・醍醐寺等への観光客にはまだコミュニティバスが浸透しておらず、これからの利用促進活動において取り組んでいく必要があると考えています。

●今後の取り組み

利用促進活動において地域と一体となった取り組みを展開すること、観光利用に向けてのPRを強化することなど様々な施策を検討しています。今後とも、情報を提供させていただきます。

よろしく願いいたします。

(株)ヤサカバス